

うおつ なめりかわ きたの だいいち いないずみ

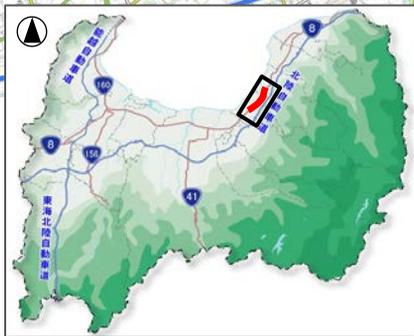
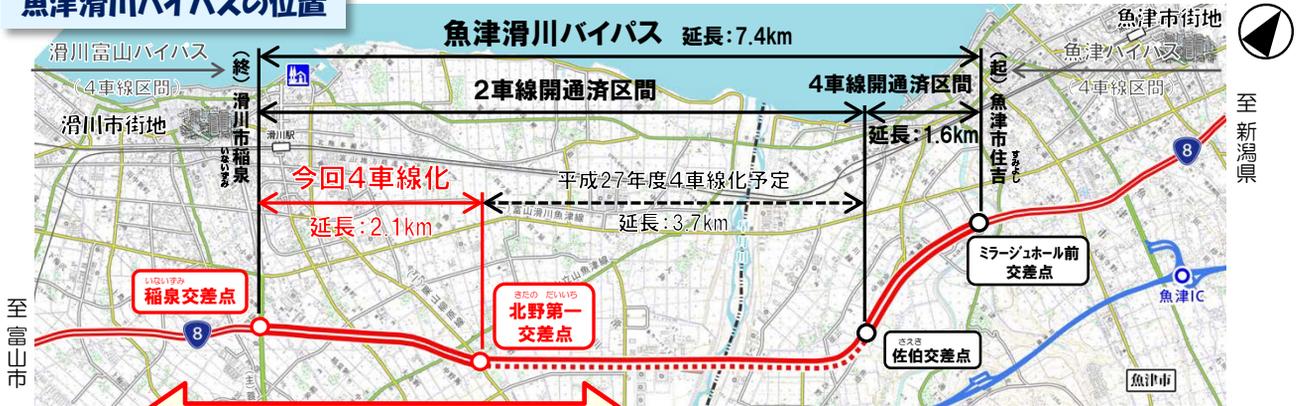
国道8号魚津滑川バイパス 北野第一～稲泉交差点 3月20日(木)に2車線から4車線に!!

富山河川国道事務所では整備を進めている**国道8号魚津滑川バイパス**のうち、**北野第一～稲泉交差点**までの延長2.1kmが、**平成26年3月20日(木)** 10時から**4車線**に広がります。
今後も引き続き、**平成27年度**の**全線4車線化**に向け事業を進めていきます。

【魚津滑川バイパスの4車線化による主な整備効果（今回の開通区間）】

- 効果①：朝夕ピーク時の交通混雑の緩和（国道8号の走行速度が改善）
- 効果②：死傷事故の減少（交通がスムーズになることで安全な走行環境が確保）
- 効果③：輸送等における定時性の確保（物流の効率化を支援）

魚津滑川バイパスの位置



魚津滑川バイパス4車線化の経緯

- 平成元年度事業化、平成5年度工事着手
- 平成16年3月全線暫定2車線開通
- 県東部を行き来する幹線道路として活躍
工業、商業施設の開発が進む
- ピーク時を中心に魚津滑川バイパスで混雑発生
- 交通混雑緩和のため順次4車線化

お問い合わせ先

調査第二課長 金川 亨 TEL：076-443-4717（直通）
FAX：076-443-4718

魚津滑川バイパスの4車線化によって期待される効果

効果①

朝夕ピーク時の交通混雑の緩和が期待

- ◆ ピーク時の交通集中等によって交通混雑が発生しており、主要渋滞箇所※1が連続
- 今回の4車線化区間である、北野第一交差点～稲泉交差点間の**走行性の向上**によって、国道8号の**ピーク時における交通混雑の緩和**が期待されます。

効果②

走行性の向上による死傷事故の減少が期待

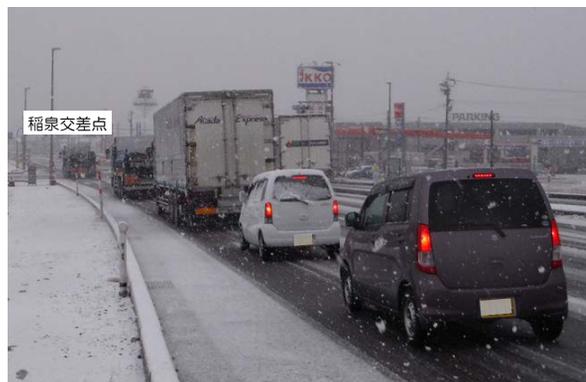
- ◆ 今回の4車線化区間では、年平均（H20～23）15件（うち追突事故が13件）の死傷事故が発生し、事故ゼロプラン登録箇所※2も点在
- 国道8号の混雑が緩和し、**走行性が向上する**ことで、安全な走行環境が確保され、混雑時の追突事故等の**死傷事故の減少**が期待されます。

魚津滑川バイパス周辺の主要渋滞箇所と事故ゼロプラン登録箇所



写真①：国道8号 稲泉交差点の混雑状況
（新潟県方面から富山市方向を望む）

※ 平成25年12月17日撮影



写真②：冬期 国道8号 稲泉交差点の混雑状況
（新潟県方面から交差点を望む）

※ 平成25年12月12日撮影

魚津滑川バイパスの4車線化によって期待される効果

効果③

定時性の確保による物流の効率化が期待

◆ 今回の4車線化区間周辺には、工業団地や大規模工業施設が多く立地し、主要な輸送ルート及び通勤ルートとして国道8号が利用されています。

○ 今回の4車線化により、国道8号から滑川工業団地や魚津企業団地、アルミ建材メーカー工場までの**アクセス利便性が向上**すること、混雑が緩和されることで製品輸送等における**定時性が確保**されることによって、**物流の効率化**が期待されます。

魚津滑川バイパス周辺の工業施設

 : 工業施設



滑川工業団地

機械金属製品製造業を中心に全16社で構成され、団地面積は約6万6千m²

魚津企業団地

機械金属製品製造業や運送業を中心に全17社（総従業員数：約190名）で構成され、団地面積は約7万m²

アルミ建材メーカー工場

国内におけるビル用商品製造の中核で北陸地域の物流拠点も擁し、敷地面積は約67万m²（従業員数：975名）



写真：国道8号 稲泉交差点の混雑状況（交差点から富山市方面を望む）

国道8号4車線化区間の大型車混入率※が約21%、アルミ建材メーカー工場に向かう（一）古鹿熊滑川線が約35%と、大型車の割合が高く、物流路線として機能しています。

※ 大型車混入率：全交通量のうち大型車が占める割合
（出典：H22道路交通センサス）